

令和4年度

# 事業概要

青森県立さわらび療育福祉センター

# 目 次

第1	設置の目的と沿革	1
第2	施設の概要	2
第3	組織及び分担事務	3
第4	職員の配置状況	3
第5	業務の概要	4
第6	入所者の日課表	5
第7	診療の状況	6
第8	入所者の状況	7
第9	在宅支援の状況	12
第10	実習生・研修生の受け入れ	13

## 第1 設置の目的と沿革

重度の肢体不自由児の療育施設として昭和45年9月に「さわらび園」が開設された。

その後、次第に障害の重度重複化や高齢化が進み、近年では入所者の多くが重症心身障害児(者)となった。

このため、青森県行政改革大綱に基づき平成18年4月から重症心身障害児(者)施設へ全面転換し、施設の名称を「さわらび医療療育センター」に変更した。

さらに、平成26年4月からは、無床診療所を併設した福祉型障害児入所施設及び障害者支援施設(生活介護、施設入所支援)に移行し、施設の名称を現行の「さわらび療育福祉センター」に改称した。

昭和45年	3月26日	さわらび園を弘前市に設置することに決定
	4月1日	開設準備室が青森県衛生部内に設けられる
	8月10日	青森県指令第4481号を以って病院開設許可
	8月31日	県立さわらび園建設工事完成
	9月1日	県立さわらび園開設、肢体不自由児重度棟30床承認
	9月9日	青森県指令第4965号を以って病院使用許可(50床)
	9月30日	園児1名が入所、業務を開始
昭和48年	4月10日	青森県立弘前養護学校さわらび分教室を園内に設置
昭和55年	9月1日	開設10周年を迎える
昭和56年	4月1日	さわらび分教室を青森県立弘前養護学校さわらび分校に改称
昭和57年	2月3日	さわらび分校が青森県立弘前第二養護学校に昇格
昭和57年	4月1日	青森県立弘前第二養護学校開校
昭和62年	2月2日	青森県指令第428号(運)第88号運動療法等施設に承認
平成2年	9月1日	開設20周年を迎える
平成12年	9月1日	開設30周年を迎える
平成18年	4月1日	重症心身障害児(者)施設へ全面転換し、県立さわらび医療療育センターに改称
平成22年	9月1日	開設40周年を迎える
平成24年	4月1日	児童福祉法による医療型障害児入所施設に移行 障害者自立支援法による療養介護サービス事業所に指定
平成24年	4月1日	施設内部を全面改修するとともに、新たに通所棟を整備 (青森県地域医療再生特例基金 事業費 576,794千円)
平成26年	3月31日	
平成26年	4月1日	福祉型障害児入所施設及び障害者支援施設(生活介護、施設入所支援)に移行、施設の名称を県立さわらび療育福祉センターに改称 障害児通所支援事業開始、無床診療所に転換
令和2年	9月1日	開設50周年を迎える

## 第2 施設の概要

### 1 所在地

〒036-8385

弘前市大字中別所字平山168 TEL・FAX 0172-96-2121

2 土地 敷地面積 13,921.69㎡

### 3 建物

種 目	構 造	延 面 積	備 考
管理・診療棟、 入所棟	鉄筋コンクリート造陸屋根2階 建	2,034.20㎡	旧本館
通所棟	鉄骨造陸屋根平家建	610.74㎡	H25.4.11新築
車庫及び倉庫	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家 建	84.00㎡	
旧次長公舎	コンクリートブロック造亜鉛メ ッキ鋼板葺平家建	65.20㎡	旧本館、H21.5.1廃止
旧医師公舎	コンクリートブロック造亜鉛メ ッキ鋼板葺2階建	239.76㎡	H.8.9.17廃止
旧看護婦寮	コンクリートブロック造亜鉛メ ッキ鋼板葺2階建	331.55㎡	H.8.9.17廃止
計		3,365.45㎡	

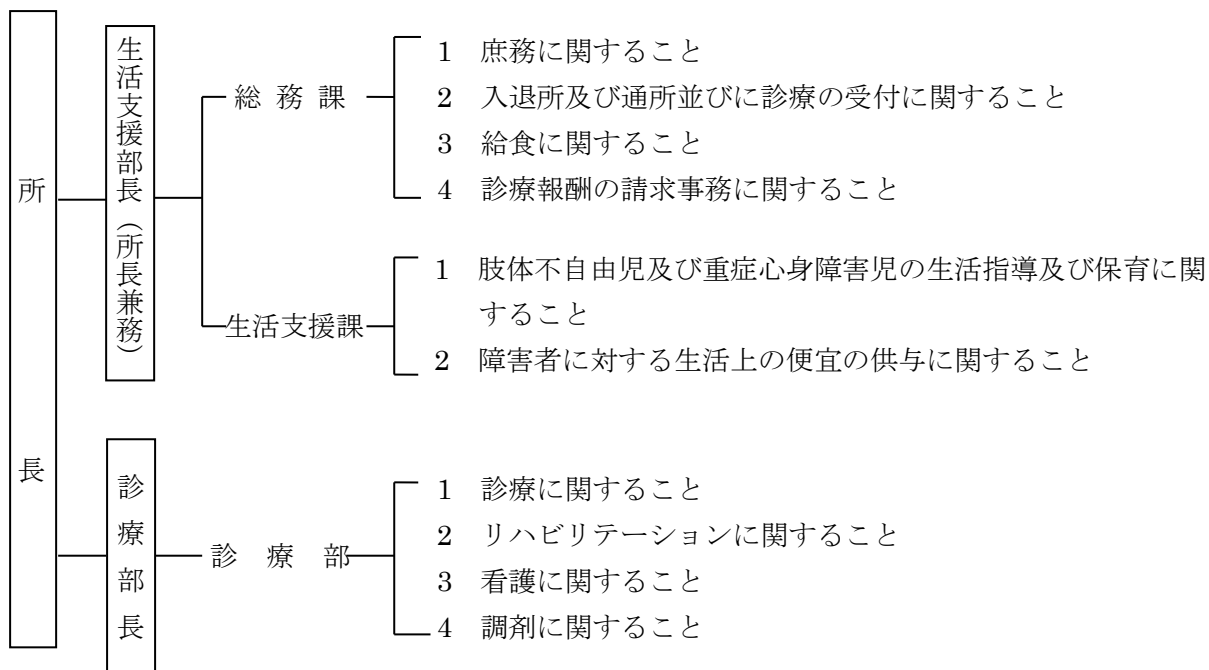
### 4 医療施設

- (1) 内科診療機械器具
- (2) 機能訓練用機械器具
- (3) 一般X線撮影装置

### 5 その他

- (1) ボイラー設備
- (2) 自家用発電設備
- (3) 自家用防火設備
- (4) その他

### 第3 組織及び分担事務



### 第4 職員の配置状況 (令和5年4月1日現在)

※ ( ) は障害者総合支援法上の施設職員としての職名 (単位:人)

職種	現員	職種	現員
所 長	1	生活支援課長 (サービス管理責任者)	1
診 療 部 長	1	看 護 師	10
理学療法士	4	事務職員 (児童指導員)	2
言語聴覚士	1	事務職員 (生活支援員)	1
総務課長	1	保 育 士	1
事務職員	1	看護師 (児童発達支援管理責任者)	1
管理栄養士	1	事務職員 (児童発達支援管理責任者)	1
調 理 師	4	計	31
応 援 医 師 (非 常 勤) 2		警 備 員 (委 託) 3	
事 務 員 (非 常 勤) 1		医 事 会 計 員 (委 託) 1	
技術員 (看護師) (非 常 勤) 3		清 掃 業 務 員 (委 託) 3	
生活支援員 (非 常 勤) 6		ボイラー技能員 (委 託) 2	
指 導 員 (非 常 勤) 2		洗 濯 業 務 員 (委 託) 3	

## 第5 業務の概要

### 1 診療部

#### (1) 外来患者の診療（入所者・利用者含む）

外来診療、一般的処置、理学療法、言語聴覚療法、摂食・嚥下訓練の指示及び療育相談、障害者の診断書作成

#### (2) 整形外科の診察（応援医師）

療育相談・補装具及び障害者の診断書作成

#### (3) 薬局

調剤及び製剤、衛生材料の保管

#### (4) 一般 X 線撮影

X線及び記録写真の撮影

#### (5) リハビリ訓練

- ア 理学療法 ・運動発達の促進、ポジショニング、関節可動域訓練、ストレッチ訓練、筋力強化訓練、上肢リーチ及び巧緻性訓練、日常生活動作訓練、評価
  - ・補装具等の相談
  - 車椅子、座位姿勢保持装置、日常生活用具
- イ 言語聴覚療法 ・読む、聞く、話す、書く等の機能訓練
  - ・コミュニケーション障害に対する訓練及び器機の相談
  - ・摂食・嚥下障害の評価と訓練

### 2 生活支援部

#### (1) 入所棟における支援事業

（生活介護、障害者支援施設、福祉型障害児入所施設）

- ① 日常生活における指導及び介助
- ② 日中活動、行事の計画・実施
- ③ 利用者の健康管理
- ④ 生活環境の整備

#### (2) 通所棟における障害児通所支援事業

##### ① 児童発達支援

主に未就学児童に対し、「児童発達支援計画」に基づき、自由活動（あそび）、個別教育、集団療育、生活自立支援等を提供

##### ② 放課後等デイサービス

就学児童を対象に「放課後等デイサービス計画」に基づき、自立した日常生活を営むために必要な訓練、創作的活動、作業活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を行います。

### 3 その他

- フレンドクラス活動の支援
- 弘前第二養護学校との行事等での交流

## 第6 入所者の日課表

時 間	生 活 日 課	時 間	生 活 日 課
6 : 00	起床、排泄	13 : 15	診察 リハビリテーション
7 : 00	朝食、服薬、洗面、 排泄、検温、衛生ケア	13 : 30	排泄、水分補給 (月、水、金 お茶会)
8 : 45	診療 リハビリテーション	14 : 00	レク活動 フレンドクラス交流会 (木)
9 : 30	排泄、更衣 (月、水、金 入浴)	14 : 30	おやつ 自由時間 (余暇)
10 : 00	フレンド朝の会 (入浴 日は午後) 水分補給	16 : 00	排泄
11 : 45	昼食、服薬、 排泄、休息	17 : 30	夕食、服薬、洗面
			自由時間 (余暇)
		19 : 00	排泄
		21 : 00	就寝・消灯

## 第7 診療の状況

### 1 年度別外来患者数 (単位:人)

年 度	延 人 員	備 考
H27	5,740	
H28	4,884	
H29	4,856	
H30	4,848	
R1	4,699	
R2	3,960	
R3	3,867	
R4	4,171	

### 2 月別外来患者数 (令和4年度) (単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人員	301	345	412	353	250	385	356	397	340	303	361	368	4,171

### 3 リハビリテーション実績(外来) (単位:人)

年 度	理 学 療 法	言 語 聴 覚 療 法	備 考
H27	4,193 (うち入所者 2,060)	1,367 (うち入所者 779)	障害児リハ
H28	3,577 (うち入所者 1,745)	1,276 (うち入所者 701)	障害児リハ
H29	3,593 (うち入所者 1,839)	1,351 (うち入所者 802)	障害児リハ
H30	3,418 (うち入所者 1,689)	1,345 (うち入所者 761)	障害児リハ
R1	3,291 (うち入所者 1,686)	1,243 (うち入所者 754)	障害児リハ
R2	2,715 (うち入所者 1,515)	1,038 (うち入所者 626)	障害児リハ
R3	2,671 (うち入所者 1,314)	980 (うち入所者 505)	障害児リハ
R4	2,885 (うち入所者 1,390)	1,113 (うち入所者 582)	障害児リハ
	11		運動器リハ



## 第8 入所者の状況

令和元年度から定員を以下の通り変更。

(定員：生活介護 26→20人 施設入所支援 24→20人 障害児入所施設 5人)

### 1 年度別入退所者数

(単位：人)

年度	入所者数(児童)	退所者数(児童)	年度末現在数	備 考
H27	0(0)	0(0)	17	
H28	0(1)	0(0)	18	児童1名措置入所
H29	1(0)	1(0)	18	10月～11月1人入所
H30	1(0)	1(0)	18	10月21日～3月29日1人入所
R1	2(0)	0(1)	19	4月児童1人卒業、者へ移行 6月3日～1人入所
R2	1(0)	1(0)	19	10～12月 1人入所
R3	0(0)	0(0)	19	
R4	0(0)	0(0)	19	

### 2 月別入退所者数

(令和4年度) (単位：人・%)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所児者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所児者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月初在所者数	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
月末在所児数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所率(者) %	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95
入所率(児) %	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 市町村別入所者数 (令和5年3月31日現在) (単位:人)

性別	市町村名	弘前市	黒石市	五所川原市	つがる市	平川市	鯨ヶ沢町	田舎館村	深浦町	計
男		6	1			1	1	1		10
女		3	2	1	1	1			1	9
計		9	3	1	1	2	1	1	1	19

4 年齢別入所者数 (令和5年3月31日現在) (単位:人)

	10～20歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	計
男		2	4	4	10
女		1	4	4	9
計		3	8	8	19

5 疾患名別入所者数 (令和5年3月31日現在) (単位:人)

性別	疾患名	脳原性疾患		進行性筋萎縮 神経疾患	外傷後遺症	その他	計
		脳性麻痺	その他				
男		6	2	1		1	10
女		4	4		1		9
計		10	6	1	1	1	19

6 入所者の障害支援区分(18歳以上) (令和5年3月31日現在) (単位:人)

性別	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性			1	1		8	10
女性						9	9
合計			1	1		17	19

## 7 入所者のADLの状況

(令和5年3月末現在)(単位:人)

区分 機能	食事	更衣	洗面 歯磨	排泄	入浴	歩行	言語	計	比率 (%)
☆	2	2	1	1		1	2	9	6.8
○	2	1	2	3	2	1	2	13	9.8
△	4	2	2	2	1	7	4	22	16.5
×	11	14	14	13	16	10	11	89	66.9
計	19	19	19	19	19	19	19	133	100.0
介助を要する 比率 (%)	89.5	89.5	94.7	94.7	100.0	94.7	89.5	93.2	-

※ 介助を要する比率は、(○+△+×)を計で除したもの

(1) 食事から歩行までの項目については

☆・・・独りでできるもの

○・・・少しの介助を要するもの

△・・・相当介助を要するもの

×・・・全て介助を要するもの

(2) 言語の項目については

☆・・・聞き手が分かるもの

○・・・聞き手が半分分かるもの

△・・・聞き手がときどき分かるもの

×・・・聞き手が全く分からないもの

## 8 主なレクリエーションの実施状況

※新型コロナウイルス感染防止を踏まえ少人数で三密を避けた内容に変更

月	行事名	内容
4月	フレンドクラス開講式、転入職員歓迎会	新しい職員、利用者の紹介や交流を図りました。
	ハンドベル	みんなで演奏し、楽しみました。
	鯉のぼり装飾	廊下に鯉のぼりを飾り付けました。
	春の散策	外に出て、散歩しました。
	金魚・アヒルすくい	おもちゃの金魚、アヒルをすくって楽しみました。
6月	オープンカフェ	美味しいケーキと飲み物を食べて散策し、リフレッシュしました。
	ぬり絵手紙	水彩色鉛筆で絵とメッセージを書いて、ご家族に送りました。
	七夕短冊作り・飾り付け	短冊に一人ひとり願いを書いて飾りました。
	弘二養中学部交流会	初めてオンラインで交流会をしました。
	ねぶた鑑賞	少人数に分かれ、通所棟に飾ったねぶたを鑑賞しました。
	真夏のお楽しみ会	紙風船割りをしてスイカを食べ、夏の気分を味わいました。
8月	お楽しみ会	アイスクレーキをみんなで食べました。
	黒石よされ・アイスを食べよう	職員と一緒に黒石よされを踊りました。アイスは好きなものを選んで食べました。
	ちぎり絵制作	作品展示に向けての制作に取り組みました。
	ハンドベル	演奏しながら歌も歌いました。
	車椅子ダンス	ダンスをして記念写真を撮りました。
10月	食育（ハロウィン）	パンプキンチーズケーキを作って、食べました。
	秋の演奏会	職員が秋の曲を演奏し、みんなに楽しんでもらいました。
	弘二養祭作品展示で参加	みんなで制作した作品を展示しました。
	シールアート	色とりどりの丸シールを貼って、絵を制作しました。
	ハンドベル	クリスマスの曲を練習しました。
12月	イルミネーション点灯式	イルミネーションを飾り付け、楽しく行いました。
	自衛隊慰問	クリスマスケーキをいただきました。
	クリスマスパーティ	キャンドルサービス・ハンドベルやケーキを食べて楽しみました。
1月	新春お楽しみ会	ポッチャ大会をして盛り上がりました。
	ハンドベル	みんなで新しい曲を練習しました。
2月	節分・豆まき	紙で作った鬼にボールで豆まきをしました。
	ハンドベル・お別れ会	職員のお別れ会をしました。
3月	食育（ひなまつり）	ケーキに好きなものをトッピングして、美味しくいただきました。
	色紙制作	退職・転出する職員に向けてみんなで制作しました。
	退職・転出職員お別れ会 フレンドクラス閉講式	今年度の活動終了

\*この他、お茶会や毎月お誕生会や制作等も行いました。

## 9 令和4年度 医療機関受診状況

医療機関名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	
弘大病院皮膚科		1		1		1		1		1		1	6
弘大病院神経科精神科	2	2		3	1		3	3	1	1	2	1	19
弘大病院婦人科	1												1
弘大病院整形外科							1	1					2
健生病院小児科	3	1	2	1	2	2	2	1	2	2	1	2	21
健生病院救急外来ER				1								3	4
健生病院(コロナワクチン接種)	11						15						26
健生クリニック内科				3	2	2		2					9
あすなろ療育歯科						1		1		2	2	3	9
小泉歯科	3	4	3	2			3	1	1		2	2	21
あらい眼科クリニック		1	1	1		1			2			1	7
あきた耳鼻科		1				1	1	1	1		1	1	7
いちのへ耳鼻科	1		1	1		1		1				1	6
むらなか小児科	1		1		1		1		1		1		6
坂本アレルギー呼吸器科医院					1							1	2
梅村医院											1	2	3
めとき眼科		1	1	1		1						1	5
合計	22	11	9	14	7	10	26	12	8	6	10	19	154

## 第9 在宅支援の状況

### 1 短期入所、生活介護、日中一時支援事業利用状況（入所棟）（単位：人）

年 度	日中一時支援事業		生 活 介 護		短 期 入 所	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
H27	6	104	6	280	10	287
H28	3	79	8	401	17	572
H29	3	74	9	477	19	970
H30	2	80	10	538	19	732
R1	2	67	11	563	17	645
R2	2	16	8	133	11	127
R3	0	0	4	99	1	78
R4	0	0	1	60	2	95

### 2 障害児通所支援事業等の利用状況（通所棟）（単位：人）

年 度	障害児通所支援事業				日中一時支援事業 (18歳未満)	
	児童発達支援 (未就学児)		放課後等デイサービス (就学児)			
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
H27	1	42	3	234	2	190
H28	0	0	7	650	1	17
H29	1	13	7	793	0	0
H30	0	0	8	742	0	0
R1	0	0	9	713	0	0
R2	0	0	10	538	0	0
R3	0	0	9	619	0	0
R4	0	0	8	699	0	0

## 第10 実習生・研修生の受け入れ

保健・医療・福祉に係る人材を養成するため、大学、高等学校、専門学校等からの依頼により、実習生・見学者を受け入れています。

### 1 実習受け入れ

令和4年度については、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて受け入れをしました。

受入時期	内容	学校名	実習生数
令和4年6月21日	見学実習・講義	厚生看護学院	22名